



写真は4月2日山下公園（横浜市中区）にて撮影

平成28年度(第62回)全国溶接技術競技会 結果

被覆アーク溶接・炭酸ガスアーク溶接の部 とともに 全国 第2位!

平成28年度(第62回)全国溶接技術競技会は、平成28年10月9日(日)北海道函館市の北海道職業能力開発促進センターにて開催され、その結果がこの1月に一般社団法人日本溶接協会より発表されました。

神奈川県代表選手4名は、見事全員入賞を果たし、中でも、被覆アーク溶接の部の根崎弘崇さん(㈱IHI横浜工場)、炭酸ガスアーク溶接の部の中神貴紘さん(㈱東芝京浜事業所)は、全国2位最優秀賞を獲得するという栄誉に輝きました。

また、被覆アーク溶接の部の内谷瑛さん(㈱IHI横浜工場)は第5位優秀賞、炭酸ガスアーク溶接の部の浅野宰さん(㈱IHI横浜工場)は、第16位優良賞と健闘されました。

4人の方々に感想をお聞きしたところ、第一声に「悔しい」という言葉が発せられ、好成績に甘んずることなく、よりハイレベルな技術と精神力を探究する意気込みが感じられました。また、「日頃の練習通りにすべてを行ったことの結果である」といった言葉も聞かれ、改めてコンクールという緊張する場面でも平常心を保つことのできるような練習を積んできたという自信も感じられました。また、「素直に嬉しい」という言葉もあり、是非次回の全国競技会でもこの言葉を聞きたい!と大いに期待するところです。



写真 左から内谷さん、浅野さん、中神さん、根崎さん

平成28年度の優勝選手は、被覆アーク溶接の部は、愛知県代表の藤岡羊平さん(㈱豊田自動織機)。炭酸ガスアーク溶接の部は、愛知県代表の築島功季さん(トヨタ自動車㈱)でした。



「よさこいソーラン」の演舞

そして、平成29年度全国溶接技術競技会は、当地神奈川県で開催されます。

平成29年10月21日（土）開会式 横浜ロイヤルパークホテル

平成29年10月22日（日）競技会 (株)IH横浜工場

皆様の暖かいご声援をよろしくお願いいたします。

平成29年度(第60回)神奈川県溶接コンクール 結果 速報!

平成29年度（第60回）神奈川県溶接技術コンクールは下記により開催されました。

審査は、外観試験、X線透過試験、曲げ試験について行い、下記のように入賞者が決定しました。

全国大会へは、平成29年度開催県枠として出場選手枠が各種目1人増え、次の6名の方々が出場いたします。

《被覆アーク溶接の部》 1位・鈴木 耕久さん、2位・喜屋武秀人さん、3位根崎 弘崇さん

《炭酸ガスアーク溶接の部》 1位・工藤 将太さん、2位・中神 貴紘さん、3位岩崎 拳也さん

- ・主 催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 平成29年2月3日（金）
- ・会 場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加者 被覆アーク溶接の部 14名
炭酸ガスアーク溶接の部 25名 合計参加者 39名

優勝 神奈川県知事賞・神奈川県溶接協会会長賞（優秀賞）

被覆アーク溶接の部

団体賞 (株)東芝浜川崎工場 / 個人賞 優勝 鈴木 耕久

炭酸ガスアーク溶接の部

団体賞 住友重機械マリンエンジニアリング(株) / 個人賞 優勝 工藤 将太

入賞者（得点800点満点）

《被覆アーク溶接》1位～5位は優秀賞です（760点以上）、6位～8位は優良賞（720点以上）です。

1位・鈴木 耕久／(株)東芝浜川崎工場、2位・喜屋武秀人／(株)IH横浜工場、3位・根崎 弘崇／(株)IH横浜工場、
4位・内谷 瑛／(株)IH横浜工場、5位・増渕 岳／(株)東芝京浜事業所、
6位・今村 圭稀／富士電機(株)、7位・柏木孝一郎／神鋼溶接サービス(株)、8位・佐藤 健一／神鋼溶接サービス(株)、
9位・地村健太郎／神鋼溶接サービス(株)、10位・大野 亮平／(株)東芝京浜事業所、11位・東 龍哉／JFEエンジニアリング(株)、
12位・齋藤 拓哉／JFEエンジニアリング(株)

《炭酸ガスアーク溶接》1位～4位は優秀賞です（760点以上）、5位～16位は優良賞（720点以上）です。

1位・工藤 将太／住友重機械マリンエンジニアリング(株)、2位・中神 貴紘／(株)東芝京浜事業所、
3位・岩崎 拳也／(株)IH横浜工場、4位・東野 光生／(株)東芝京浜事業所、
5位・浦添 良／(株)東芝浜川崎工場、6位・浅野 宰／(株)IH横浜工場、7位・小園 勇紀／ジャパンリソテック(株)、
8位・小島 貴宏／神鋼溶接サービス(株)、9位・東迎晋太郎／住友重機械マリンエンジニアリング(株)、10位・伊藤 文孝／神鋼溶接サービス(株)、
11位・伊佐 優人／ジャパンリソテック(株)、12位・青山 正人／(株)総合車両製作所、13位・萩原 栄治／(株)総合車両製作所、
14位・磯 旬紀／ジャパンリソテック(株)、15位・伴 隆一郎／三菱重工業機軸模原製作所、16位・早川 哲夫／(株)IH横浜工場
(敬称略)

なお、表彰式は平成29年5月26日（金）定時総会後（一財）日本溶接技術センターで行われる予定です。

第8回神奈川県高校生溶接コンクール

兼 第8回関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川代表選抜競技会 開催

平成28年11月23日（水）、下記の要領で第8回神奈川県高校生溶接コンクールが行われました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、これからの日本の製造業の若き担い手の育成を支援する目的で開催するものです。

- ・主 催 一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・後 援 神奈川県工業高等学校長会
- ・協 力 (一財)日本溶接技術センター
- ・会 場 (一財)日本溶接技術センター
- ・競技課題 溶接技能者評価試験 (JISZ3801) の「A-2F」被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金付き下向き突合せ継手溶接
- ・判 定 外観判定ならびに違反行為、不安全行為等の減点法、X線透過試験判定。

神奈川県内6校の工業高等学校の生徒20名が、日頃の練習の成果を競い合いました。審査は外観試験と(一財)日本溶接技術センターのご協力のもと、X線透過試験を行っています。

総合判定の結果、優勝は、種村凜也さん(県立神奈川工業高校)。2位は、谷代永遠さん(県立磯子工業高校)が入賞しました。種村さんと谷代さんのお二人は、第8回関東甲信越高校生コンクールの神奈川県の代表選手として参加することとなります。このコンクールに向けては、昨年の夏休みを利用し県内の高校7校から、生徒19名、教師12名が参加して8月24日～26日溶接実技講習研修会を、また27日には非破壊検査の講習会を(一財)日本溶接技術センターのもとで開催いたしました。

種村さん、谷代さんは、平成29年3月27日～3月31日までの5日間、春休みを返上して(一財)日本溶接技術センターにおいて、関東甲信越大会へ向けて特別強化練習を行いました。



選手と関係者

第8回関東甲信越高校生溶接コンクール 開催予定

- ・期 日 平成29年4月22日(土)9時～16時
 - ・会 場 神鋼溶接サービス(株)研修センター(藤沢市宮前100-1)
 - ・競技課題 神奈川県と同様「A-2F」被覆アーク溶接、板厚9mm、裏当て金付き下向き突合せ継手溶接
 - ・参 加 者 東部地区の11溶接協会から推薦された高校生22名
 - ・判 定 外観判定、超音波探傷試験、違反行為、不安全行為等の減点法
- 新年度幕開けに開かれるこの大会を通じて、若い力を存分に発揮してもらいたいです。

講演会「ステンレス鋼溶接の実際について」開催

平成28年11月10日(木)神奈川県産業振興センターにおいて、参加者約100名を迎え、講演会を開催いたしました。

講師に、(株)タセトより岡崎司氏、田中雅之氏、山本栄一氏、野川真輝氏、三菱重工メカトロシステムズ(株)より新光裕氏をお迎えし、会場を埋め尽くした参加者で熱気あふれる講演会となりました。

ステンレス鋼は、誕生から100年以上の歴史があり、その最大の特徴である耐食性から、その用途は多岐に渡り、様々な研究が行われています。講演では、ステンレス鋼を溶接する際の材料選定や勘どころといった基礎的な内容から、近年のトレンドである二相ステンレス鋼、身近にある実機適用例。また補修方法や溶接後の処理の一つである電解研磨処理など、ステンレス鋼全般に渡ってエキスパートが分かりやすい言葉で解説を行いました。

講演終了後も、参加者より講師に個別に質問が寄せられるなど、参加者の方々に満足いただける有意義な講演会となりました。

見学会 開催

平成29年2月24日（金）、見学会を29名の参加者を得て開催いたしました。今年度の見学先は、茨城県那珂市の国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と鹿嶋市の新日鉄住金(株)鹿島製鐵所の2か所でした。

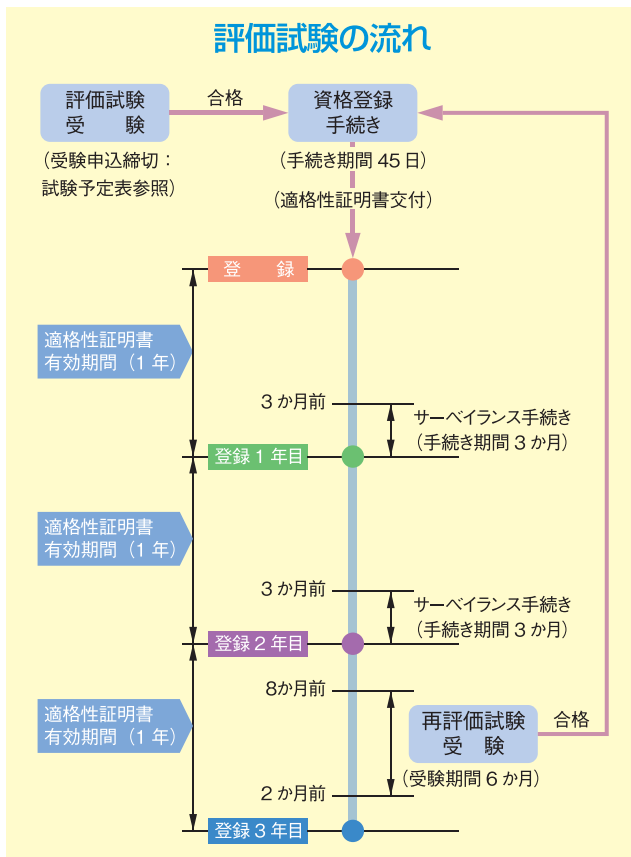
那珂核融合研究所は、国際協力で進めているITER(国際熱核融合実験炉)計画に我が国の国内機関として貢献し、また、それと並行して日欧協力で核融合エネルギーを取り出すプラズマを生成、保持する研究開発を行っている機関です。プラズマを閉じ込めるための磁場を発生する超伝導コイルは、高さ16.5m、幅9m、重量約200tと巨大であり、現在国内外3社全19機を分担し製造中、主にTIG溶接により最大で287mm極厚溶接を実施とのこと。すべてにおいてスケールの大きさに参加者からは、感嘆の声が上がり、またそのプロセスにおいては、厳しい公差が要求されているという説明に聞き入っていました。

新日鉄住金(株)鹿島製鐵所では、鉄鉱石などの原料から鉄が産み出される工程をビデオなどで説明を受けた後、実際に厚板工場に移動し、スラブから実際に厚板を生成する圧延ラインを見学しました。鋼の冷却速度や温度をコンピューターで精密に管理し、鋼の靱性や強度を高める高品質な技術を垣間見ることが出来ました。外は、真冬の寒さでしたが、工場内は真っ赤な鉄板の誕生で熱気を帯びていました。

早朝からの長旅となりましたが、参加者の皆様方には満足していただける一日になったとの感想を頂くことが出来ました。



評価試験情報



手溶接 実技試験要領

	A-2F	A-2V	A-2H
板付			
溶接棒	イルミネイト系φ4mm又は低水素系φ4mm		
電流その他	1層 180~190A (ストリングビード) 2層 } 170~180A 3層 } (ワイーピングビード) 4層 } 5層 160~170A (低水素系では4層仕上)	1層 125~135A (上進ストリングビード又はスモールワイーピングビード) 2層 120~130A (上進ワイーピングビード) 3層 115~125A (上進ワイーピングビード)	1層 160~170A (ストリングビード) 2層 (2パス) 155~165A (ワイーピングビード) 3層 (4パス) 120~130A (ストリングビード)
特に注意をすること	<ul style="list-style-type: none"> ○1層目は特にアークを短くするために、溶接棒先端カップを開先底面に付け、スラグを十分押えながら、ゆっくり進む。 ○最終層の前の層は母材表面から1mm程度の深さに調整するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1層目は溶接速度に注意して十分溶け込ませる。 ○2層目は1層目のビード両止端部にアークを止めるようにし十分溶け込ませると同時にビードをできるだけ平坦にする。 ○最終層はアンダーカットに注意。 	<p>2層目のワイーピングに注意しビード高さをそろえる。7パス目はアンダーカット防止のため、スラグが流れないように注意。</p>

- 更新試験の受験期間が次のようになっています。
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり②の扱いは受けられません。
②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。
更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。